

“COC 事業の成果と今後の展開”をテーマに COC 事業 地域連携シンポジウムを開催

3月2日(土)、本学431教室でCOC事業「地域連携シンポジウム」を開催しました。本学のCOC事業が今年度で終了することから、総括として「COC事業の成果と今後の展開」をテーマに実施し、行政関係者や地域の方々、他県のCOC採択大学の教職員、本学の教職員・学生など、約80名が参加しました。

開会にあたり、志村二三夫学長と並木傑新座市長から挨拶が行われた後、基調講演では、連携自治体である新座市教育委員会の金子廣志教育長と、平成25年度のCOC採択校で本学と大学間連携協定を締結している園田学園女子大学の大江篤教授をお迎えし、ご講演をいただきました。

金子教育長からは大学と地域とのWIN-WINの視点から、「地(知)の拠点としての大学への期待～COC事業を振り返って～」と題して、新座市との連携協力の取り組みの紹介や、今後の課題として、地域の教育機関と連携した教育研究や地方再生を図る連携事業のさらなる推進についてお話しいただきました。

また、大江教授からは、「〈地域〉と〈大学〉をつなぐ経験値教育プログラム - 園田学園女子大学COC事業の事例 -」と題して、“まちの相談室”で地域のニーズを発掘し、地域と対話しながら開発した“つながりプロジェクト”や経験値教育、COC事業終了後の取り組みなどをご紹介いただきました。

その後の成果発表では、今後も継続発展が期待される地域志向教育研究プロジェクト4件について、研究代表の教員のほか、研究に参画した本学卒業生や学生、地域の方々にもご登壇いただき、これまで継続して取り組んできた研究成果と今後の展開について発表していただきました。

最後に、綿井企画担当副学長から、「5年間のCOC事業の取り組みを通して、地域と信頼に基づく顔の見える関係を構築でき、教育研究の中に“地域”という言葉が入ってきたことが大きな成果である。補助期間が終了するが、ここからが地域連携のスタートと思っている。地域との協働という形で、地域の発展と本学の発展をシンクロしながら進めていくことを祈念している」との閉会挨拶がありました。



志村二三夫学長より開会挨拶



並木傑新座市長より来賓挨拶

◆基調講演



新座市教育委員会 金子廣志教育長



園田学園女子大学 大江篤教授

◆研究プロジェクトの成果発表

1. 子ども元気プロジェクト



研究代表者
幼児教育学科 鈴木康弘 准教授



共同研究者
幼児教育学科 宮野周 准教授



研究に参加した幼児教育学科の学生
4年 大門日向子さん
3年 新藤美波さん、須見文香さん、関口博子さん

2. 産学官連携による地域の食材を使った商品の開発



研究代表者
食物栄養学科 金高有里 講師



研究に参加した食物栄養学科 3年の学生
井上南美さん、加藤伶奈さん、二階堂明日香さん



3. ふるさとの緑と野火止用水を育むプロジェクト



研究代表者
児童教育学科 星野敦子 教授



共同研究者
ふるさとの緑と野火止用水を育む会 (HUG ネット) 佐藤弘信 会長
雑木の会 島田保 氏、新座市グリーンサポーター 横山勇 氏



4. + (プラス) ママの子育てサロン



研究代表者
幼児教育学科 上垣内伸子 教授



共同研究者
幼児教育学科 渡邊孝枝 助教、プラスママ 池田愛加 氏 (平成 18 年幼児教育学科卒業)
研究に参加した幼児教育学科の学生 4年 橋本佳奈さん

